

「高校生 ICT Conference in 兵庫」 参加報告

9月14日(土)に姫路情報システム専門学校で、「高校生 ICT Conference in 兵庫」が開催され、本校からも5名の有志が参加しました。

高校生 ICT Conference は、高校生が身近なスマホやインターネットについて、これまでの経験や知識、意見を出し合って、世の中の課題解決に有効な活用方法を目指し、その場での議論をサミットで取りまとめて、こども家庭庁、総務省、文部科学省など政府に提言するというものです。

今年のテーマは 「今、高校生が考える生成 AI との付き合い方ー「誤情報・偽情報」を超えた活用法を考えるー」 というもので、高校生の視点から生成 AI の活用方法について、各校の生徒たちと議論しました。

どの班も白熱した議論が展開され、最後には各班でまとめた意見をプレゼンテーション発表しました。

すべての発表が終わり、もっとも内容が良かった班を生徒たち自身で決め、選ばれた班から代表者1名が兵庫県代表として、全国大会に参加が決定しました。

残念ながら、本校の生徒が代表者とはなりませんでしたが、良い経験ができたと思います。この経験を今後の活動に活かしていけるようにしていきたいと思います。

【参加した生徒の感想】

・こういったイベントに参加することが苦手だったので避けてきたけど、参加してみてすごくいい経験ができたなと思います。その日初めて会う人たちと AI について話し合いをしていると自然とコミュニケーションがとれている気がして、最初不安だったけどすごく楽しかったです。人前で発言や発表することが苦手だった私が、カンファレンスに参加して少し成長できたと思います。また、AI を使うことが少ないのでお話にあった通り、少しずつ活用していこうと思います。

・今まで生成 AI は使い方を間違えると危ないということは認識していましたが深く考えたことはありませんでした。今回 ICT カンファレンスに参加して、私たちに身近な存在の生成 AI について、主観的な意見ばかりでなく、様々な視点からの意見を取り入れられて良い経験になりました。

